



6月19日（金）フリー参観・なわとび集会を行います

保護者の皆様にお子様の学校生活の様子をより身近に感じていただくため、6月19日（金）にフリー参観を実施します。子どもたちは、お家の方に見守られることで大きな励みを感じます。ご都合のつく時間にぜひご来校いただき、子どもたちの学校生活の様子をご覧ください。フリー参観には、以下の利点があります。

① ありのままの学校生活を見ることができます

通常の授業参観では限られた時間や教科のみの参観となりますが、フリー参観ではさまざまな時間帯や教科の様子をご覧ください。今回は、外部講師の方による和菓子作り体験や租税教室も行われます。様々な学習の中で子どもたちがどのように学び、友達と関わっているのかを知る機会にもなります。

② お子さんの成長を多面的に感じられます

授業中の発表や学習への取り組みだけでなく、休み時間や係活動などの様子、子ども同士の関わりなどからも、お子さんの成長や頑張りを感じていただけます。

③ 家庭での会話が豊かになります

参観後に「今日の発表、頑張っていたね」「友だちと協力していたね」など、学校での具体的な出来事を話題にし、気づかれたことを認める言葉としてお子さんにお話しいただくことができます。

尚、この日は、地域の方にも学校にお越しいただけるよう、ご案内しています。子どもたちが、多くの方に見守られているということを実感するとともに、いつも温かく見守っていただいている地域の方々への感謝を、子どもたちの姿からお伝えできればと思っています。

なわとび集会にむけて

5/28～6/4に行われた Kameyama Sports Week の期間中だけでなく、毎日業間に大縄の一斉跳びに取り組んでいます。最初は、大縄を跳ぶタイミングがつかめない子やリズムよく跳ぶことができない子もいましたが、毎日練習を積み重ねるうちに、徐々に連続して跳べるようになり、かけ声も大きくなってきました。6月19日のなわとび集会で練習の成果を発揮してほしいと思います。



メディアコントロールウィークへのご協力を

スマートフォンやゲーム、動画視聴などのデジタルメディアは、私たちの生活に欠かせないものとなっています。便利で楽しい一方、長時間の利用によって睡眠不足や運動不足、学習時間の減少などにつながることもあります。

本校では、子どもたちがメディアとの上手な付き合い方を考える機会として、関中学校区で期間を合わせて「メディアコントロールウィーク」を実施しています。この取組の目的は、単にメディアを我慢したり禁止したりすることではありません。メディアから離れた時間を過ごすことで、「家族と話す時間が増えた」「読書や外遊びが楽しかった」「早く寝ることができた」など、有意義な時間の使い方を実感してほしいと考えています。

これからの社会では、メディアを使わない力ではなく、必要に応じて自分で利用時間や内容を調整する力が求められます。メディアコントロールウィークを通して、自分の生活を振り返り、「何のために使うのか」「どのくらい使うのがよいのか」を考えるきっかけにしてほしいと思います。

ご家庭におかれましても、お子様と一緒にメディアの使い方について話し合い、読書や運動、家族団らんなど、メディアに代わる充実した時間づくりにご協力をお願いいたします。今後も学校と家庭が連携しながら、子どもたちが主体的に生活を整える力を育てていきたいと考えています。



歯は一生の宝物

6月は「歯と口の健康週間」です。私たちの歯は、食べ物をしっかりかんで栄養を取り入れたり、はっきりと話したりするために大切な役割を果たしています。また、健康な歯は、体全体の健康にもつながっています。しかし、歯みがきが十分にできていないと、むし歯や歯肉炎の原因となります。

毎日の歯みがきは、歯と口の健康を守るための第一歩です。子どものうちは保護者の方の声かけがあることで歯みがきの習慣が身に付きます。しかし、学年が上がるにつれて「自分でみがけるから大丈夫」と思いがちです。実際には、奥歯や歯と歯の間などにみがき残しが多く見られ、むし歯や歯肉炎の原因となることがあります。

子どもの頃に身に付けた生活習慣は、大人になってからの健康に大きく影響します。毎日の丁寧な歯みがきは、将来にわたって自分の歯で食事を楽しみ、健康に生活するための土台となります。

「たった1本の歯」と考えるのではなく、「一生使う大切な歯」と考え、お子様と一緒に歯と口の健康について話し合う機会をもっていただければ幸いです。

現在、学校でも歯磨きチェックを行い、正しい歯みがき習慣を身に付け、生涯にわたって健康な歯を守っていただけるよう取り組んでいます。子どもたちが自分の歯でおいしく食べ、笑顔で過ごせる未来のためにご家庭でもお子様の歯みがきの様子を見守り、声かけをお願いいたします。

保健室前に、「歯の大切さ」について掲示し、啓発しています。

